

みんな仲間だ！ フェスティバル2019

開催しました

12月10日の世界人権宣言の日にちなんで、12月8日にクレオ大阪中央で「SDGs × 子どもの権利」をテーマにイベントを開催しました。

2019年は、子どもの権利条約国連採択30年の記念の年になります。「子どもがすくすく育つと世界はもっと良くなる」をテーマに、子育て支援活動をされている講師の基調講演に加えて、子どもからの発表を行いました。その後、講師も交えてテーブルトークを行い、おとなと子どもが、一緒になって考えて交流する1日となりました。

基調講演

「子どもがすくすく育つには」

特定非営利活動法人

山科醍醐こどものひろば 理事長

村井琢哉さん

こどものひろばに来た子どもの第一声の「はあ、疲れた」。この言葉は、子どもたちの現状を端的に表しています。「すくすく」ではなく「たくましく」と、学校でも家庭でも何らかの緊張感を強いられている子どもたちが多くいます。せめて地域の居場所であるこどものひろばでは、そんな子どもたちをゆるめてあげたいと考えて、子どもがすくすく育つための「当たり前」の埋めなおしをしています。食事や居場所などの「安心できる場所」として、体験活動や学習のサポートによって「自己肯定感を獲得すること」などです。特別な活動ではなく、まちにあり続ける活動が必要だと考えています。そして、子どもたちには、「○○しなさい」「○○できるようにがんばれ」といったできていないことを起点とした「引き算の言葉がけ（否定形）」ではなく、「○○できたね」といった「足し算の言葉がけ（肯定形）」での接し方を大切にしています。



子どもからの発表



ゼウスメター マリエル デラルメンティさん
（成美高校2年生 フィリピン出身）

外国に住むのは、嵐の中に放り込まれるようなことで、友人もなく大変でした。今は、色々な国の友人もできました。決して、負けずに立ち上がっていきたいと思います。



菊池 陸さん
（関西大学高等部3年生）

東淀川区で「しゅくだいカフェ」をボランティアとして手伝っています。高校生は、子どもと大人の間の存在なので、色々な場面で活躍できると考えています。どんどん声をかけてください。



高原穂夏さん
（関西大学高等部3年生）

不登校になった時に、周りの仲間からの「おはよう」の一言で「ここに居ていいんだ」と勇気づけられました。相手の居場所をつくることは、自分の居場所をつくることにもなっていると思っています。



主催 みんな仲間だ！フェスティバル2019実行委員会

クレオ大阪中央（大阪市立男女共同参画センター中央館）

実行委員会：（公社）アムネスティ・インターナショナル日本 なにわグループ

（公財）オイスカ関西支部、だるま塾、親子ネット関西

（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会